

平成 29 年第 10 回中津川市教育委員会議事録（要旨）

日 時 平成 29 年 8 月 29 日（火） 午後 1 時 00 分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 田島 雅子 小栗 仁志 三尾 和樹

事務職員 早川事務局長・大巾文化スポーツ部長・小木曾教育次長兼学校教育課長
末木事務局次長兼教育企画課長・千村文化スポーツ部次長
西尾教育研修所長・丹羽幼児教育課長・足立子育て政策室長
山下発達支援センター所長・林阿木高等学校事務長
吉村施設計画推進室長・二村図書館長兼蛭川済美図書館長
川合文化振興課長兼市史編さん室長
糸魚川生涯学習スポーツ課長・青木中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第 26 号	中津川市議会(定例会)に提出する議案の意見について	承認

■教育長 本日はお忙しい中、教育委員会 8 月定例会にお集まりいただき、ありがとうございます。

今朝はJアラートの音で起こされた方もおみえかもしれませんが、市もJアラートによって対策本部が置かれ、幹部の者が詰めました。ですが、岐阜県が対象地域でなかったことと、日本列島を抜けたということですぐに解散にはなりました。学校の子どもの登校について、今までJアラートへの対応についてきちんと確立していません。この機に情報収集をして学校へ連携を取りながら進めていきたいと思っています。

さて、学校は夏休みが終わり、昨日から 2 学期が始まりました。夏休み中はさまざまな子どもたちの活躍がありました。中体連の大会で、県大会、東海大会、全国大会へ進む子、それからサマー・サイエンス・スクールの科学での学習に参加した子、中学生の海外研修でタイへ行って研修をした子等、いろいろありました。サマー・サイエンス・スクールについては、ノーベル賞受賞の天野先生の青色LEDの講義や、東工大学長の軽部先生の生命の謎、名古屋大学の杉山先生の宇宙の暗黒物質といったような、子どもにも大人にもとても興味深いテーマで勉強させていただきました。受講した子どもたちからも積極的な質問が飛び交い、充実したサマースクールが行われました。夏休み期間中の子どもたちの事故については、熱中症の疑いで搬送された報告が 2 件ほどありましたが、あとは大きな事件、事故には至らずほっとしているところです。

全国ではこの夏、大雨による洪水の被害が伝えられているところですが、中津川市でも台風 5 号で避難準備情報が出されました。市内で 16 の避難所が設けられましたが、そのうち 7 つは学校が避難所として指定されました。教育委員会事務局の職員や学校の職員が避難所開設に当たりました。幸いにして避難者も数名程度でしたし被害もありませんでした。ですが、職員の中には、避難所開設に当たって、台風の来る日の 2 時頃から翌朝の 7、8 時まで、17 時間ぐらい避難所に詰めていた者もあり、こちらの体制も整えないと長期にわたったときには対応できないだろうと思いました。たまたま夏休みでしたが、学校が授業日であることも想定して、今後避難所のあり方や職員体制について検証していく必要があると感じました。

もう一点、明日から 9 月議会が始まります。質問はこれから来ますが、提案の議案の中に、小栗委員の再任の人事案件がありますので、ご紹介いたします。

それでは、本日の教育委員会よろしくお願いたします。なお、今日、林由美委員から所用により欠席する旨の連絡がございましたので報告します。

日程第 2 の前回議事録の承認につきましては回議といたします。

日程第 3、教育長報告を行います。お手元に報告の概要を資料として配付させてい

ただきましたのでご参照ください。

前回7月19日の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告します。7月21日は、学校の管理職への研修である学校経営研修会、また、就学判定を行う教育支援委員会に出席しました。22日には障がい児者を守る会総会、23日には消防操法大会壮行会、27日、長野県の蘇南高校地元市町村協議会に出席しました。28日には中体連の県大会が中津川市で行われ、野球、卓球の開会式に出席しました。

8月1日から4日は岐阜サマー・サイエンス・スクールが行われました。天野先生、杉山先生の公開講座は受講生だけでなく市民の方にも多く参加いただきました。期間中には実行委員会も行われ、来年は7月31日から4日間行われることになりました。来年、苗木の国立大学研修センターが今年度で廃止されるということもあって、さっそく来年の準備に取り掛かりたいと思っております。

8月2日は教育論文の実践発表会が開催されました。5日には二つ森ふれあいクラブ夏祭りに参加、8日には少年の主張の県大会、9日は東濃地区教育推進協議会夏季研修会に出席しました。12、13日は中津川の夏祭り、14日は苗木あんどん祭りに出席しました。17日朝にはタイ研修の出発式がありました。同日、ライオンズクエスト・ワークショップ、21日から22日は県の教育長会夏期研修に参加しました。23日には県庁へ中津川市の要望実施事業として、市長、県議とともに35人学級の実施拡大、あるいは県境にある県立高校の充実、存続について要望してきました。24日は博物館協議会、25、28日は職員採用にかかわる面接、26日には砂防講演会に参加しております。27日には市総合防災訓練が行われました。

今後の主な予定です。明日、30日から市議会定例会が開会します。来月中旬以降は、中学校、小学校、幼稚園、保育園の運動会が予定されています。また、9月8日から10日まで暮らしの知恵創作展が行われます。各学校から選ばれた夏休み中の子どもたちの力作が展示されます。私からは以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告します。

最初に早川事務局長、報告をお願いします。

■事務局長 前回以降の主な行事について、報告します。

7月23日に文化会館で保育の集いが開催され、出席しました。保育園の教育長訪問は24日に川上保育園、坂下保育園、26日に阿木保育園、坂本保育園、北野保育園に訪問しました。27日に部長会が開かれました。夜は蛭川地区の市政懇談会がありました。

8月1日から4日は岐阜サマーサイエンススクール2017inなかつがわが開催されました。教育委員さんにもご出席をいただきありがとうございました。初日の特別講義には2014年にノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学教授、天野浩先生に講義

をしていただき、一般の聴講者も多く来場いただきました。また、夜には大井前教育長さんが発起人でサマーサイエンススクールのOB・OG同窓会が開催され、OB・OGや講師の先生方、歴代の担当等が集まりました。

7日に台風5号が接近し、土砂災害の危険が予想されたため、避難準備・高齢者等避難開始情報が発令され、市内の避難所の開設準備を行いました。今回、学校の体育館等7カ所の学校施設が避難所となったため、教育委員総出で対応に当たり、翌朝まで職員が待機しました。幸い大きな被害はなく済みましたが、初めて避難所開設を行った学校も多く、施設、設備、物資、人員など多くの課題がありました。体育館などはバリアフリーになっておらず、早めに避難を開始する高齢者や障がい者の方には不適であり、避難所のあり方を再検討する機会となりました。

9日は神坂地区の市政懇談会に出席しました。18日に生徒会サミットが開催予定でしたが、大雨警報のため中止となり残念でした。22日に姉妹都市である長野県小諸市で開催された藤村忌に出席しました。この日は島崎藤村の命日に当たり、藤村のゆかりの地である小諸市では、毎年、藤村の功績をたたえて集いを行っています。当日も市民のグループによる合唱や草笛などの披露、献花が行われました。27日は中津川市総合防災訓練が行われ、災害対策本部設置訓練に参加しました。28日夜、坂下高等学校活性化協議会に出席しました。本日午前中は部長会に出席しました。

今後の予定ですが、30日から市議会9月定例会が始まります。一般質問等の対応をしていきます。また9月には、教育長訪問で福岡小学校、高山小学校、落合小学校、阿木小学校、阿木中学校、神坂小学校、神坂中学校の訪問が予定されています。小中学校の運動会、体育祭が9日、16日、23日と予定されていますので参観したいと思います。また、27日に子ども子育て会議の開催を予定しています。

以上です。

■教育長 次に、文化スポーツ部長、報告をお願いします。

■文化スポーツ部長 それでは、文化スポーツ部にかかわる主な行事や事業についてご報告します。7月23日から30日、第31回中津川市美術家協会展がにぎわいプラザ5階で開催されました。22日にはオープニング・パーティーが行われ、市長と議長が出席されました。7月24日は社会教育委員の会兼公民館運営審議会が開催され、会の役割について議論していただきました。同日、東海地区で生まれ全国で活躍するエイベックス・グループ所属、ダンス&ボーカルグループ「ブリジッド」が、7月9日にサンライフで開催した1デイ・ダンスクリニックの開催お礼に来庁されました。ダンスクリニック当日には教育長にも出席いただき、約70名の参加者がありました。7月25日、中学生タイ研修結団式が開催され、教育委員の皆様にご出席いただきありがとうございました。7月27日、定例記者会見が開催されました。

8月1日から4日は岐阜サマー・サイエンス・スクール 2017in 中津川が開催されました。3日には末松先生にも子ども科学館を来館していただき、顕彰室について打ち合わせを行いました。8月6日、和太鼓奏者加藤拓三氏を常盤座名誉館長に委嘱する就任式が福岡ふるさとまつりの会場で行われました。8月8日、少年の主張岐阜県大会が東美濃ふれあいセンターで開催され、中津川市代表第一中学校3年牧野さんは優秀賞を受けました。8月9日、中心市街地活性化基本計画策定委員会が開催されました。8月17日から22日、中学生タイ研修が実施され、全員無事帰国しました。8月24日、博物館協議会が開催されました。8月27日、市総合防災訓練が実施されました。本日29日、全国高等学校軟式野球選手権大会が開催され、岐阜県代表中京学院大学附属中京高校が見事優勝しました。この中に、市内出身者は、加子母中学で1名、この方は主将、付知中学の出身の選手2名がレギュラーで入っております。

今後の予定です。8月30日、9月定例会が開会します。9月3日、付知B&Gプール大規模リニューアル式典が開催されます。同日、加子母歌舞伎大会が明治座で開催されます。9月11日、中学生タイ研修の報告会が開催されます。教育委員の皆様のお席もお願いしたいと思います。9月16日、郷土の歴史資料の幅広い活用をめざした講演会が文化会館で開催されます。9月17日、岐阜県民スポーツ大会総合開会式が東美濃ふれあいセンターで開催されます。9月23日から24日、中津川ソーラーブドウカンが中津川公園で開催されます。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきましてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

ないようですので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1議第26号、中津川市議会(定例会)に提出する議案の意見について、説明をお願いします。末木事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明について質問、ご意見等ありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 私、勉強不足で申し訳ないんですけど、一度聞いてみようと思っていたことがあります。中津川市は結構指定管理しているところがたくさんあると思います。たとえば、今出された坂本の体育施設などを指定管理者制にした場合、そのメリットは、経費削減とかいろいろ分かるんですけど、指定管理者制度を適用した場合に、何か市が直接管理するよりも問題点のようなものがあれば、お聞きしたい

んですが。

■教育長 千村文化スポーツ部次長。

■文化スポーツ部次長 デメリットがあれば本来あまりやらないのですが、デメリットというか、たとえば、この北部体育館北運動広場は、課長が言ったように、地域に密着した施設です。本来利用料金制も採っていないので、34万という格安な指定管理料で1年間管理していただいているわけです。ただ、その委員会が地元の区長たちがやっていますので、2年ごとに委員が替わってしまい、その組織自体がきちんとした体制がとれてない場合があります。指定管理に出す以上、公の施設ですのでしっかり管理していただける委員会をつくってもらいたとは思っているのですが、それがなかなかできないところがたまに出てくる可能性はあります。組織というか、指定管理を受ける団体さんの面でしっかりした体制がとれるような形で文化スポーツ部も支援していますが、そういった体制が弱い部分が出てきてしまったときに、管理運営が適正にできるかどうかといったところが、デメリットがあるのかなとは感じています。

■教育長 ほかにありますか。

小栗委員。

■小栗委員 一つ教えてください。この北部体育館とグラウンドに関して指定管理にすることは私も賛成で、今話がありましたが、非常に安い金額で、これで管理していただけるのは本当に有り難いと思います。支出の内訳を今回初めて見ました。決算額と予定額の一般管理費と維持管理費の決算額に対して予定金額がどうしてこのようになったのかというのが分かれば教えていただきたいと思います。

■生涯学習スポーツ課長 28年度の決算額が維持管理費0というところは、利用料金制でない施設で、施設の維持費に係る費用は市から持ち出して充てています。それと、29、30年度の6万円の計上については、軽微な補修等に関しては、施設でやっていただくということで、予算額として6万円を計上しています。

■教育長 修繕費ということですね。

ほかにご質問、ご意見ありますか。

田島委員。

■田島委員 本当に安価に受け持っていており、人件費を見ると、職員数、1人月1万円ぐらいなんだと思います。グラウンドも管理しているわけですね。草刈りも区長たちが善意でやっておられるんですか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 グラウンドの草刈りは地域住民のボランティア等で対応していただいている部分もあります。

■教育長 ほかにありますか。

それでは続いて、議第 104 号、指定管理者の指定について説明をお願いします。
糸魚川生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明についてご意見、ご質問ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 4 ページ、28 年度の自主事業、29 年度予定額の自主事業、30 年度の自主事業というところを見ると、28 年度だけたくさんあります。それに伴って利用料金も同じような比率で多い、少ないということです。26 年、27 年度の利用者数より、28 年の利用者数が多いですね。これは、28 年度だけ自主事業が活発だったのでしょうか。何か何周年とか大きなイベントがあったからこうなって、あとはまたそのまま 29、30 年度も行くのでしょうか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 28 年度の自主事業、利用料金は、特に実績でこれが上がっています。団体使用等もあったということもありますが、特に大きな事業をやったとかいうことではなくて、実績そのものが上がっているということと、29 年度は予定額、この施設は 27 年度から指定管理を行っているのですが、そのときに計上した予定額がそのまま上がっていますので、この差が出てきています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがとうございます。自主事業も収入のうちに入ってくるという話を先ほどされましたので、活発に自主事業をされていれば、収入もたくさんになるということだと思うのですが、自主事業的なことはどんなことをやっているんですか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 この場合の自主事業は、体育館に自動販売機を設置していただいたというところで、自動販売機の売上が入っています。あとはコピー料や、やさかイキキ倶楽部がやってみえる事業の参加者からの利用料金、事業に対する費用が含まれています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 では、確認ですが、コピー、自動販売機、やっておみえの事業の利用料金の収入ということですね。何かイベントをやったり企画をしたりという自主事業ではないということですね。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 ただ、ここの施設が中学校の併設施設で、昼間の時間帯は中学生の体育施設ということで一般の方がほぼ使われていないというのが今までの現状でしたが、28年度にその空きスペースを利用して、やさかイキキ倶楽部が高齢者を集めて事業をしたりとか、そういった事業で若干使われているという部分もあります。それで自主事業で費用が取れたというのがあります。

■教育長 ほかにありますか。

小栗委員。

■小栗委員 ここの施設は28年度も指定管理をやっているんですか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 27年度から指定管理を始めています。今年までで、30年度から新たにということです。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 4ページの内訳書の人件費について教えてください。28年度の決算額が職員2人、臨時5名で約690万。29年度予定額、職員1人、臨時6名で690万。細かい数字まではいいんですが、見方として、職員が減って臨時職員が増えたけどほぼ同額ということについてです。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 29年度が予定額として27年度に指定管理を始めるときに計上した金額が上がっており、職員の数については、ここだけ実績が上がっており、今年になってから1名退職をした関係で1人臨時の職員を採用したということで、臨時は6名で1人増えています。金額については、当初の予定の金額を上げていったためこのような状況になっています。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 ありがとうございます。ということは決算額は予定額より減ってくるという見方でよろしいのでしょうか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 29年度の決算額は実績で減ってくるようになります。

■教育長 ほかにありますか。

それでは続いて、議第105号、指定管理者の指定について説明をお願いします。
糸魚川生涯学習スポーツ課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。
田島委員。

■田島委員 中津川公園の利用で、リレーマラソンが入ってないとおっしゃって
ましたね。指定管理料ではなくて、利用者数など、横ばい状態ということですが、
いっぱいいっぱい横ばい状態なのですか。利用を増やす余地はもうないので横ば
いなののでしょうか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 意味が違っていきまして、ほぼ同じような人数というこ
とで横ばいという表現を使いました。利用については、まだまだ増える余地が十分あ
ります。

■教育長 そのほかご質問、ご意見ありますか。

ないようでしたら、続きまして、議 106 号、指定管理者の指定について、説明を
お願いします。川合文化振興課長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ありましたらお願いし
ます。

田島委員。

■田島委員 9 ページの内訳で自主事業という項目がありません。他は皆自主事業で
内訳があるのですが。何か違う状態で営業をされているのでしょうか。

■教育長 川合文化振興課長。

■文化振興課長 文化会館に関しては、文化事業、たとえば昨年度は、ペレスプラ
ード楽団、オーケストラで聴くジブリ音楽、平原綾香のコンサート、もろもろの事
業がございました。これはもともと指定管理で費用を見込んでやっているのではな
くて、この分は市から「年間これだけの費用で、正式には 2268 万円ほどで、いろ
いろな事業をやってください」ということなのです。たとえば先ほどの東美濃の体協
さんとは別な仕組みで事業をお願いしている関係で、自主事業は指定管理に含ま
れていません。

■教育長 ほかにありますか。

ないようでしたら、続いて 5、平成 29 年度中津川市補正予算についての説明をお
願います。

田島委員。

■田島委員 その前に、指定管理者同士の交流というのはあるのでしょうか。

■教育長 千村文化スポーツ部次長。

■文化スポーツ部次長 指定管理者同士の打ち合わせ会議や交流会はありませんが、しっかり指定管理をするということで、市の方針などにも、所管する部署がしっかりとその団体と意思統一をする連絡会議をしています。ただし、関連した、似たような、たとえばスポーツ推進施設のB&Gは付知と加子母は交流があります。福岡も直営ですがそういった意味では交流があります。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ある指定管理者に伺ったんですが、指定管理者になったからには、市がやっていたときよりもより良い実績を残したいと頑張ってみえる方からお話を聞きました。ということは、いろいろ考えてノウハウとかあちこちから情報を得たりして、自分たちのやる気がとてもたくさんある人たちなので、いろいろな指定管理の方々に、一つの会議のようなことをやっていただいて、うちはこんなふうにして利用者を上げているとか、自主事業がこうなっているとか、そういう切磋琢磨をする機会をつくってもらおうと、もっと指定管理にして効率が上がりいい仕事がしてもらえるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

■教育長 大巾文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 田島委員の提案は大変いいことだと思いますので、今後市全体を含めた中で考えていきたいと思います。

■教育長 あとはよろしいですか。それでは、補正予算の説明に移ります。

議案9 ページの歳出からお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの歳出、歳入について、質問、ご意見ありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 歳出⑤公民館総務事業で50万の木育の教材購入とありますが、どこで使うものですか。

■教育長 糸魚川生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 現在は公民館ではありませんが、阿木の地域振興センターで乳幼児の学級をやっていますので、そちらで活用していただきます。

■教育長 ほかにありますか。

ないようでしたら、議第26号の1から5全体でご質問があればお願いします。

田島委員。

■田島委員 とてもたくさんの寄附を今回いただき有り難いことですが、寄附を受け付けてからの流れを教えてください。購入するものを決めるということも、流れの中に入れて教えてください。

■教育長 末木事務局次長。

■事務局次長 まずお話をいただいた時点で、お金だけではなく寄附の申込書という書面を添えていただくようにしています。その申込書にはどういった目的に使ってほしいということも書いていただいてお金と一緒にいただく。これは教育委員会事務局の各課でいただく場合もありますが、直接学校現場、あるいは幼稚園、保育園でいただく場合もあります。それはそちらで処理をしていただくのですが、最終的には事務局を書類は経由します。そして、寄附者のご希望をお聞きする、それを学校、幼稚園、保育園に伝え、現場の希望を聞き、必要な備品等を決めていただく。寄附ですので、消えてしまわないような形で、物として残して、またそのものにはそういった寄附をいただいたということが分かるようなものをしっかりと付けて、それを使用する人たちにもご理解いただき大切に使用していただくという形で行っております。寄附金をいただいたことに関しては広報なかつがわでお知らせしたり地域の広報でお知らせしたり、金額が大きい場合は報道発表もしています。

■教育長 ほかによろしいですか。

田島委員。

■田島委員 寄附は本当に有り難いもので、寄附をされた方々にはお礼をして、どなたが寄附してくれたかを貼ったり、提示したりしていて、広報にも掲載しているということで、たくさんの方々にそれが広報されているのは非常に有り難いことなのですが、当世はもう緊縮です。しっかりとお金にも縛られていて、生徒のためであればほしいこれがほしいと学校で思っている、なかなか市の予算では付けてもらえないということが現状です。この寄附というのは大変大事なもので、何とか、小栗さんと今目が合ったんですが、財界の方々とか、お金が余っている方々の素晴らしい使い道ということで、寄附という行為を何とか全面に打ち出すなりして、たくさんの方に知っていただき多くの方から学校に寄附をしていただけるように、いいアイデアは出てこないものでしょうか。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 苗木交流センターの建設がいい例ですよ。地元企業に働きかけて半年ぐらい前から寄附が集まったと聞いています。アイデアを出せば、やりようはいくらでもあるのかなと思いますよ。

■教育長 田島委員。

■田島委員 そうですよ。地元のキーマンを探して行って、その方に働きかけを

した。その結果いいものができあがったのかなと思います。意識の問題だと思います。

■教育長 御寄附については、こちらから呼びかけにくいものですので、その趣旨に沿って活用させていただいているのが現状です。

他になれば議第 26 号について承認ということによろしいでしょうか。

ありがとうございます。議第 26 号、中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見については原案通り承認とします。

これで議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは事務局から次回の開催についてお願いします。

■事務局次長 次回は 9 月 29 日金曜日 13 時 30 分から、場所はにぎわいプラザ 4-1 会議室です。

■教育長 次回は 9 月 29 日 13 時 30 分からにぎわいプラザ 4-1 会議室です。よろしくをお願いします。

以上で平成 29 年第 10 回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会（午後 2 時 2 0 分）]

〔署名欄〕
